

地震

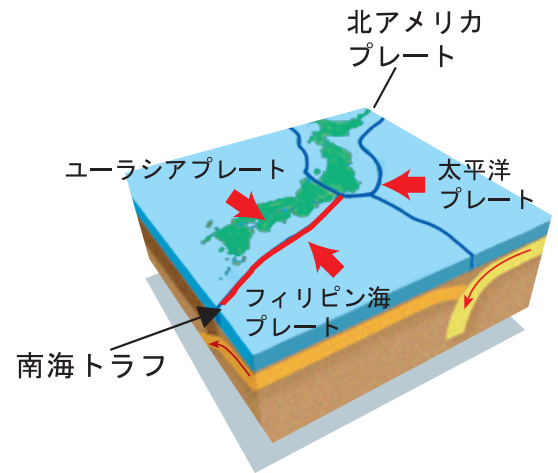
◆ なぜ地震は起こるの？

西日本の太平洋沖の海底には、『南海トラフ』という深い溝が存在します。この南海トラフでは、西日本をのせたユーラシアプレートの下に太平洋側のフィリピン海プレートが、年数センチメートルのスピードで沈み込んでいます。この時、プレートの境界にひずみが蓄積され、このひずみが限界に達すると、プレート境界部分が割れて跳ね上がり、地震と津波を発生させます。

この南海トラフ周辺で発生する地震を、それぞれ「東海地震」「東南海地震」「南海地震」といい、これまで100年から150年に1回の割合で大きな地震と津波が発生しています。

南海トラフの西端に位置する日向灘周辺でも地震規模は大きくありませんが、地震の発生が頻繁で、近年は10年に1回程度の割合で津波を伴う地震が発生しています。

南海トラフで次に発生する地震については、国の地震調査研究推進本部の発表によれば、想定される最大規模の地震として、日向灘～南海沖～東南海沖～東海沖（相模湾付近）までを南海トラフの一つの領域と考え、この広大な海域で巨大地震と津波が発生すると想定されています。



◆ 地震はいつ起こるの？



平成23年3月に発生した東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）の教訓から、「あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波」を想定することが必要となり、国の地震調査研究推進本部で南海トラフ全体を一体として発生確率を評価した結果、南海トラフでマグニチュード8～9の地震が起きる確率は30年以内で60～70%と予測されています。

